

2023年6月8日
三菱アセット・ブレインズ株式会社

千葉銀行で資産運用提案ツール「おかねのバスケット」利用開始

投信評価・コンサルティング会社の三菱アセット・ブレインズ株式会社(本社:東京都港区、取締役社長:鱸正明、以下「MAB」)は、株式会社千葉銀行(本店:千葉県千葉市、頭取:米本努、以下「千葉銀行」)の新たな資産運用提案ツール「おかねのバスケット」^{※1}の開発に、株式会社インテック(本社:富山県富山市、代表取締役社長:北岡隆之、以下「インテック」)と共同で参画してきました(2022年9月29日付公表)。この度、千葉銀行において「おかねのバスケット」が6月12日より利用開始されますのでお知らせいたします。

※1 「おかねのバスケット」は、千葉銀行の登録商標です。

千葉銀行は、2016年7月のMABの預かり資産営業支援システム「ASSET DIRECTION」^{※2}導入以来、お客さまの預かり資産の包括的な分析・可視化と、商品の併せ持ちによる長期・分散投資を促進してきました。近年は、低金利環境の定着や長寿化を背景にお客さまの資産形成ニーズがより一層高まり、銀行が期待されるサービスは複雑化・高度化しています。加えて、デジタル化の進展やSDGsへの社会的関心の高まりを受け、シームレス化・ペーパーレス化への対応も重要なテーマとなっています。

※2 「ASSET DIRECTION」は、MABの登録商標です。

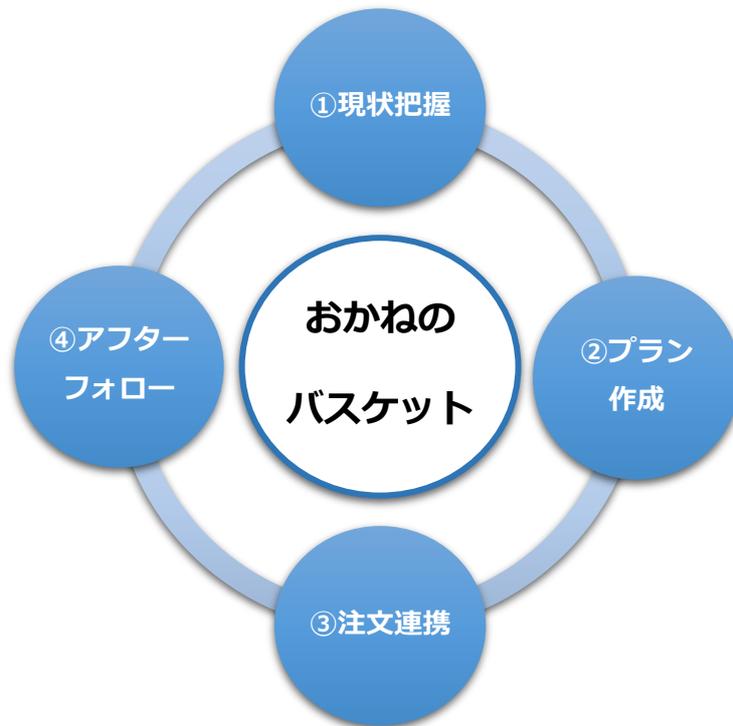
「おかねのバスケット」は、「ASSET DIRECTION」のコンセプト・機能を活かしながら、「お客さまの意向に応じた最適な運用プランの作成機能」、「シームレスな注文連携機能」、「アフターフォロー活動をサポートするアラート機能」等を搭載した新たなツールです。「おかねのバスケット」によって、資産運用の提案から申込手続きまでのシームレス化・ペーパーレス化が実現し、お客さま一人ひとりの意向をよりの確に把握したコンサルティング提案が可能となります。

ツールの開発だけに留まらず、MABは千葉銀行の行員を対象に、ゴールベースアプローチの考え方や長期・分散投資の効果、具体的なポートフォリオ提案の手法など実践的な研修プログラムを提供しました。また、お客さまのニーズに応じた複数のモデルポートフォリオの策定や最適銘柄選定ロジックの開発など、MABの知見・ノウハウを結集して全面的に支援しました。

MABは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」ことをパーパスとして掲げる千葉銀行の取り組みを、今後も最大限に支援いたします。

以上

<おかねのバスケットについて>



①現状把握

- 他行・他社で保有している金融資産も含め、お客さまの資産全体を可視化
- 全ての公募投信^{※3}を分析可能

※3 分析対象投信は順次拡大予定

②プラン作成

- 簡単な質問からお客さまのニーズや許容リスクを判定
- ゴールベースアプローチに基づき、必要な運用額やリスクリターンを判定
- 上記結果を基に、お客さまの意向に応じた運用コースを選定、銘柄を自動選択可能

③注文連携

- 保有資産の現状確認、運用プランの作成から申込手続きまでのシームレス化を実現
- 選択した銘柄の約定システムへの自動連携によって、業務のペーパーレス化を実現

④アフターフォロー

- お客さまのポートフォリオにおける「損益」や「資産配分」の変動を知らせるアラートを設定可能
- 行員によるフォローアップ活動をサポートする「定期面談」のアラートを設定可能

【画面イメージ】



※画面は実際のものとは異なる場合があります。

<三菱アセット・ブレインズ株式会社について>

三菱アセット・ブレインズ株式会社は、情報インフラを整備することで投資信託市場の成長に貢献することを趣意として、1998年12月に設立されました。資産運用市場における投資家間の情報格差の是正を目指して、中立公正な投信評価業務を核とした各種コンサルティングを展開しています。近年は、投信商品選定・管理プロセス高度化サービスや預かり資産営業支援システムを活用した販売戦略支援等のソリューションを拡充し、投信販売会社のフィデューシャリー・デューティ一実践を支援しています。

■会社概要

名称 : 三菱アセット・ブレインズ株式会社
所在地 : 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル西館 8階
代表者 : 取締役社長 鱸 正明
URL : <https://www.mab.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

マーケティンググループ

TEL : 03-6721-1027

e-mail : fiduciaryduty@mab.co.jp